

東由利村報

No. 40 35・1・1
発行所 秋田県東由利村役場
印刷所 株式会社本間印刷所

10月からこの方、赤い羽根共同募金・伊勢湾台風義捐金・歳末たすけあい運動が実施され、みなさんのたすけあいの心にうつつたえ、おすがりしてまいりましたが愛の手が下記のとおりかたく結ばれました。あつく紙面を通じてお礼申し上げます。【厚生係】

▶「赤い羽根」募金15万1千円
10月から始まった「赤い羽根」共同募金は12月末日現在で152,098円あつまりましたこの内訳は戸別募金151,148円、団体大口募金950円(玉米未亡人会長)となつております。

▶伊勢湾台風義捐金2万3千円
冬を迎えて今なお復興のメドがつかない伊勢湾台風の気の毒な被災者達を救おうと義捐金寄付をお願いしてまいりましたが、期待額を大きく上廻る23,576円あつりました。この中には玉米小学校児童達が自発的にいなきごもりを行つてえたお金4,800円も含まれております。

これらの義捐金は日赤秋田県支部で一括して見舞されました。なお下郷中学校の生徒達もそれぞれお金と学用品をきよ出しあつて別途に現地児童生徒に見舞されました。

▶歳末たすけあい運動で2万円と米540キロ
村内の貧しい人達もみんなて明るいお正月をおくろうと歳末たすけあい運動を展開いたしました。村民一人一人の心づくしの現金20,820円、白米540キロ(9俵)がよせられました。これを12月25日役場で586人の気の毒な人達の手それぞれ配分をおえ、大変感謝されました。

助役に小松忠亮氏

収入役に佐藤直蔵氏を選任

第十回村議会定例会は十二月十六日、役場に招集された。

提出された案件は助役及び収入役の選任の同意を求めることなど五件で、十五日行われた臨時出納検査他四件の報告と一般質問があつて議案審議に入り全部原案どおり可決された

これにより本村助役には小松忠亮氏、収入役に佐藤直蔵氏がそれぞれ再選され、向後四カ年村長をたすけて村政推進にタッチされることになった。

▼専決処分の承認(三十四年度追加更正予算)

三十三年七月発生した笹倉林道災害の復旧工事(延長一八メートル、巾員四メートル)と県が行う善徳地内の雪崩防止工事はいずれも速急に処分執行する必要があるため林道復旧工事分一

三万円(総額三〇万円)、雪崩防止工事二万円を追加する

▼財産売却契約の締結

先の下郷財産区から寄付をうけた杉森字沼山内雑木立木約三千九百本の売却契約、価格二百万円、買受人は東北林業有限公司

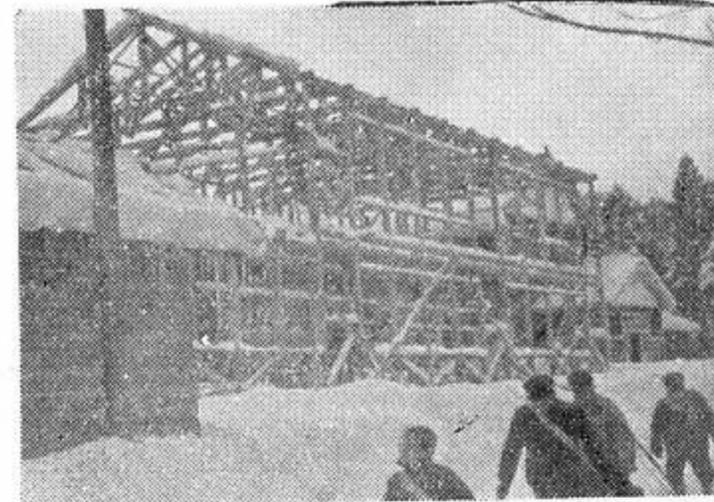
▼ジャージー種雌牛売却契約の

12月18日

玉中 特別教室の上棟式

玉米中学校特別教室(理科室、図書室、音楽室等二〇三坪)の増築工事はおりから積雪期をむかえて難行を続けていたが、去る十二月十八日午後から小松助役はじめ関係者が参集して簡素に上棟式が行われた。なおこの工事は今春三月一つばいで完成される。

【写真】棟上げを終えた玉米中学校特別教室



締結

集約酪農地域に指定されジャージー牛を導入するにあつて三十四年度分(第三次・第四次)今春三月の予定にわたつて行われるに導入牛一六五頭を村

が県から購入、さらにこれを村内各農に売渡す契約の締結

▼助役の選任

本村助役に小松忠亮氏(館西・50才)を選任する

▼収入役の選任

本村収入役に佐藤直蔵氏(横渡61才)を選任する

昭和三十五年度分の自作農維持創設資金の申込を来る一月十八日、十九日の二日間村農業委員会受付けます。
申込み資格、貸付の対象となるのは
①現在の経済規模が中備以下(村民税の所得決定額が四十一万円まで)で農林水産業の所得が過半を占め、この資金の借入により農業経営が安定し得る農家
②自作地取得資金、小作地取得資金、相続資金、維持資金(疾病、災害等による負債)
③借入の理由を証明する明白な証拠が備わるもの。
【農業委員会事務局】

— 広報ニュース —

特集記事は次号へ

今号は新年特集として①34年の歩み②酪農経営の実際③農協合併問題の資料などを掲載する予定でありましたが印刷所の都合でこれらを次号へ廻します。

問題に対処し、解決して行かねばならないかということが村長に与えられた使命であり、村民

諸氏も一人一人 一戸一戸現実の生活をみつめて

新しい年を新しい気持ちで迎えられることを希望するとともに新しい村づくりについてその協力をお願いいたします。

新年おめでとうございます。

昨年はいろいろな意味でお世話さまになりました。ことしも相変わらずよろしく

お願いいたします。毎年のごことながら昭和三十四年もあわたた

しく暮れて新しい正月を迎えましたが、生活に追われながら一歩社会へ目をむけると険悪な世

新年のごあいさつ

村長 阿部直一郎

が東由利村にもその影響大なるものがありません。国内外の情勢も依然として予断を許さぬ緊迫の中にあつて、わ

が東由利村にもその影響大なるものがありません。国内外の情勢も依然として予断を許さぬ緊迫の中にあつて、わ

が東由利村にもその影響大なるものがありません。国内外の情勢も依然として予断を許さぬ緊迫の中にあつて、わ

明けましてお目出とうござい
ます。三年続きの大豊作と太鼓
をたたかれたもののふたをあけ
てみると予想に反してお米が少
なかつたのでがっかりされたこ
とでしよう。東由利村
はご承知のとおり米の
単作でありますので稲
作の豊凶は一番さいふ

村議会議長

依光与吉郎

「感所年新」
にひびいてまいります
この不足分を補う色々
の副業が考えられます
が煙草栽培を忘れてはなりません
たばこの副業として有利な私
りの見方は畑地の改善というこ
とをねらっております。
畑作の収穫をあげる第一の要素
は土に力をもたせることであり

ます。一たび我が村の畑地が次
から次へと煙草畑に転作されま
したら一ぺんに土地改良ができ
るわけです。その後蔬菜畑えき
りかえてみましたらどんなもの
でしよう。労力配分で苦勞がず
いぶんあることとは思いますが
これに対する報酬はたつぷりあ
ります。この仕事は家内全員で

「農協」新しい段階に入る

協議会を結成して検討



り経営の近代化の基礎
づくりをしようとする
動きもやや具体性をお
びてきたのであるが、
本村でも去る十二月十
日、村内四農協役員全
員による合併の推進の
ための協議会が役場で
開かれた。
これには県農林部農業
団体指導室嵯峨係長、
県農協中央会鈴木課長
同下居本荘支所長の三
氏も指導のため出席さ
れ、相互に意見交換を

農協はもともと農民の経済的な
利益を守り助長していくことを
使命としているが、今日のこと
く、社会経済情勢の変動期をむ
かえてこれに対処するためには
現在の農協のあり方を再検討し
てより拡大強化され、近代化さ
れた経営基盤につくりかえなけ
ればならないという声が大きく
なつてきている。
先に農協中央会が主体となつて
本荘市由利郡内三十三農協間で
合併を促進するための協議会が
発足、目標としては各市町村毎
一組合として「十一農協」にしほ

本村は財政的にやや、貧弱で
あるに加えて小、中学校が九校
で年々膨大な教育費を要し、適
正規模を下廻る小規模学校のみ
で教育上の能率から考えてもや
がては何校かに
統合の運命にあ
ると思うが、現
段階としては未
だ機会が熟しな
いと考えられます。したがつて
各校の現有設備の管理には十分
留意し、また各小学校長の協力を
えて予算の節減を図るよう努力
したいと考えております。

年頭にあたって

教育委員長

佐藤 昇

昇

この度「へき地教育振興法」に
基づき本村においては老方小、
蔵小の二校を除く他の全教職員
にへき地手当を大中に増額支給
されるようになりました。へき
されようになりました。へき
るとともに村全般の教育のいろ
いろな問題にまで波及するもの
と考えられますので、今年はず
もつて村内全校のへき地指定
に努力する覚悟であります。こ
れがひいては本
村の教育向上に
絶対的条件とし
て考えられ、こ
の解決こそ新し
き年における教育委員会に附さ
れた最大の任務でありその遂行
には教職員はじめ、全村民の心
からなる後援を期待するもので
あります。

行い合併促進の方法等について
協議された。
ここに出席した役員の大多数が
個人的に概念としては合併に賛
成であるが、果してこれがここ
の地域の実情に即して効果が生
れてくるかという根本的な問題
や、合併の最終的な段階にいた
るまでの問題、例えば合併の目
的をどのようにして明確にし、
また大規模経営にきりかえる実
際の技術的な問題の見とおしを
たてるためにはさらに慎重に調
査検討を加えていかなければな
らないとして四農協役員全員で
もつて正式に東由利村農協合併
推進協議会の結成をみた。

【写真】農協合併の協議会
新しい成人者
一二六名
満二十才に達し公人として第二
の人生の門出をする人達は一二
六名(男五一女七五)、一月十
五日成人の日をきしてこの門出
をお祝いする成人式が午前十時
から役場で挙げられる。

成人講習会

1月8・9日
新しく成人となる人たちの成人
講習会は一月八・九の一泊二日
間、本荘高校下郷分校を会場に
して行われる。
内容は講話「時事解説」(木村
与之助氏)本荘市)同「郷土
の人々」(畑山伝二郎氏)、村
長を囲む座談会、模擬選挙など
を予定している。

基本選挙人名簿

登録人員決る

投票区	基本選挙人名簿確定登録人員数			前年確定人員数
	確定人員数	前年確定人員数	前年確定人員数	
	男	女	計	前年
第1区	204	211	415	412
第2区	169	192	361	361
第3区	99	110	209	208
第4区	482	519	1,001	1,014
第5区	41	48	89	89
第6区	443	492	935	933
第7区	42	49	91	94
第8区	25	30	55	56
第9区	187	220	407	406
第10区	338	370	708	700
第11区	44	53	97	96
第12区	292	326	618	621
第13区	96	104	200	201
計	2,462	2,724	5,186	5,191

かねて選挙管理委
員会では基本選挙
人名簿の調整を行
っていたが、十二
月二十日登録人員
が確定した。
この度の確定人員
数は総数五、一八
六名で前年に比し
て五名の減となつ
ている。

